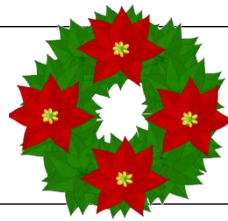


人権推進部だより



12月2日発行
西条東中学校
PTA 人権推進部

いつも人権推進部の活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

今回は、東予地区人権・同和教育研究協議会、西条市人権・同和教育講座に参加された方の感想、文化祭で行った中学生現地研修報告会を聞いた生徒の感想を紹介します。これらの学習を通して人権について考える大切な機会となりました。紹介する感想には、学びを通して気付いたことや感じたことが表れています。ぜひ御家庭でも話題にしていいただければ幸いです。

東予地区人権・同和教育研究協議会



- 実践報告を聞いて、子ども食堂のことを理解した。ただ、市民団体だけやボランティアだけでは、運営や活動に限りがある為、企業などからの積極的な支援が必要と感じた。
- 授業内で「親切心で言っていることが、実は差別している発言である」という内容が出てきたが、それを聞いたときに「過去の自分を振り返ると、実は差別していた」と思う出来事がいくつもあると感じた。私自身がもっと勉強する必要があると思った。
- 私自身も「同和問題に無関心ではいけない」と改めて感じました。いまだに同和問題は完全に解決されたとは言えず、現代社会にもその影響は残っています。まずは、私自身がこの問題を「自分事」として捉え、同和問題を社会からなくしていくという意識を持って取り組むことが大切だと感じました。

西条市人権・同和教育講座に参加して

「ハラスメントのない社会を目指して」(小倉 千尋さん ハラスメント防止コンサルタント)

- 仕事をしていると「ハラスメント」という言葉を聞く機会は多く、よく知っているつもりだったけれど、自分が思っている判断基準が違っていたり、初めて聞くハラスメントがあったりしました。自分が若い頃は当たり前だったことが、今はハラスメントになっていることは不思議な思いもあるけれど、理不尽に傷付けられる人が救われる世の中になるのはとても良いと思います。
- 日常の中での何気ない言葉や態度が相手を傷付けてしまうことがあると知り、考えさせられました。特に無意識の思い込みが原因で起こるハラスメントについてのお話が印象に残りました。悪気がなくても、相手の立場によって受け止め方は違うということ意識し、これからは相手の気持ちに寄り添った言動を心掛けたいと思いました。今回のお話を通して、相手をリスペクトでき、思いやりのある人間関係を築くことの大切さを改めて感じました。



中学生現地研修報告会

8月7・8日、本校2年生8名が西条市中学生人権・同和教育現地研修会に参加しました。
その報告会を文化祭で行いました。報告会を聞いた生徒の感想を紹介します。

- いじめや差別問題を他人事とせず、しっかりと問題に向き合っていきたいと思いました。まずは身近なことから解決していき、差別の歴史を繰り返さないようにしていきたいです。部落差別の解消へと全員で向かっていきたいです。
- 部落差別はインターネットで調べる情報と当事者から聞く話で内容が違うことが、とても心に残りました。だから私達も、インターネットで調べた情報を鵜呑みにするのではなく、正しい情報を知ってそれを周りに伝えていくことが大切だと思いました。
- 僕は報告会を通して、部落差別という差別の起こりや、具体的な事例を学ぶことができました。実際に部落問題に関わる差別を受けた人の話を聞いて、部落差別は自分にとってあまり身近なものではないように思っていたけれど、身近で今も起きているものだと分かりました。これからは部落差別などの問題について調べ、正しい知識を得た上で自ら考え、自分の身近で起きないようにしようと思いました。
- 今回の発表を聞いて、自分が知らないこともたくさんあったので、すぐ勉強になりました。その中で、語り部さんのお話が特に印象に残りました。お話の内容にすごく衝撃を受け、差別は今でも根強く残っていることが分かりました。これからは、発表の中にあったように、差別を興味のないことに分類せず、自分事として捉え、学びを深め、自分にできることを少しずつでもやっていきたいと思いました。

令和7年度 西条市中学生人権・同和教育 現地研修会報告会

